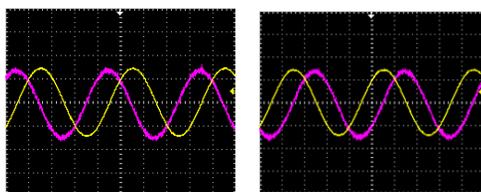


カーボンニュートラル(脱炭素)に 対応した発電機の試験方法

2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現に向け、Co2削減が今後企業における付加価値として注目されていく中、Co2削減させる方法として消費エネルギーを回生する電力変換方式が高い効果を発揮します。従来エンジン発電機などの評価では、抵抗負荷を用いる為、負荷電力は熱エネルギーに変化し空気中に放熱されます。放熱による冷却の為空調も必要となり抵抗負荷の場合Co2は、削減することなく排出するのみでした。抵抗負荷を交直両用回生電子負荷NT-AA-10KE-Lに置き換えることで、負荷電力を最大90%回生できる為、1か月あたり最大で約640kgのCo2を削減することが可能です。

テストイメージ

位相(力率)可変機能
力率を可変し無効電力を発生



進み位相

遅れ位相

系統側単相3線200Vオプション
により**単相200V**の系統電圧源
でも使用可能です。



エンジン発電機

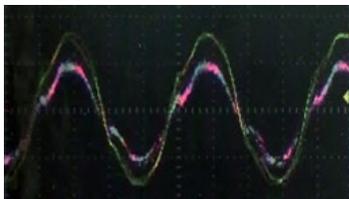


1次側

2次側

系統電源
三相3線
200V

発電機負荷モード動作波形



発電機負荷に特化した発電機用
負荷モードをオプションで準備

交直両用回生電子負荷
Ene-phantシリーズ
NT-AA-10KE-L

最大90%の回生効率
10kW負荷動作で1か月あたり
最大約640kgのCo2を削減

※1日8H連続運転で20日の場合

特長

Ene-Phantシリーズ

- ・歪み波形に強い発電機用定電流/定抵抗モードをオプションで準備。
- ・発電機評価に最適な力率可変機能。家電製品からモーター機器などの駆動模擬が可能。
- ・定格電力15%以上で回生効率80%以上。広範囲で高效率回生を実現。